

## Case16 : 脂質代謝改善治療により、黄疸と膵炎症状が消退した猫

### 【Profile】

- ・動物種：猫 ・品種：スコティッシュ・フォールド ・性別：雄（去勢手術済）
- ・年齢：14歳 ・体重：3.2kg ・B.C.S=4（体重過剰）

### ■病歴：

食欲の低下と黄疸を主訴に来院。大学病院にてレントゲン、エコーによる精査の結果、膵炎を伴う胆管拡張が疑われた。

### 【検査】

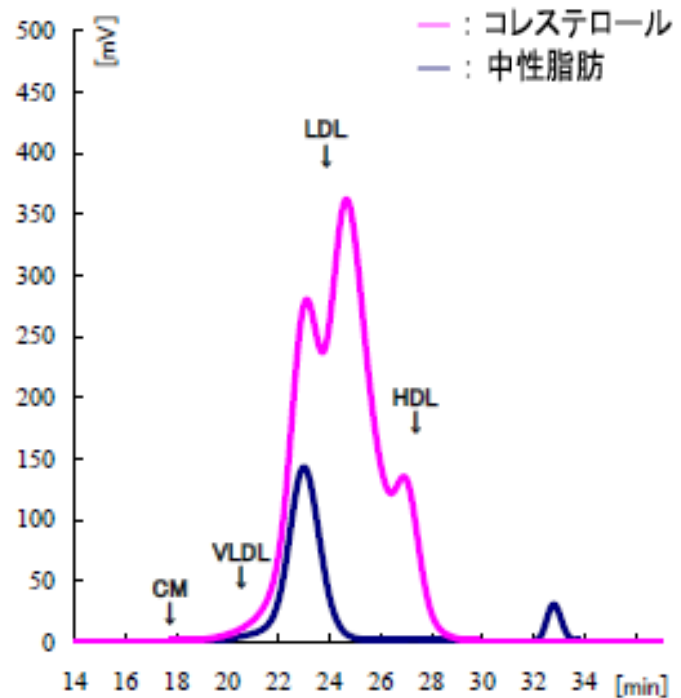
#### ■院内血液検査

GPT = 208U/l , ALP = 474U/l  
T-Cho = 378mg/dl , TG = 169mg/dl

#### ■LipoTEST検査所見（1回目）

分類：パターン4・複合逆転型

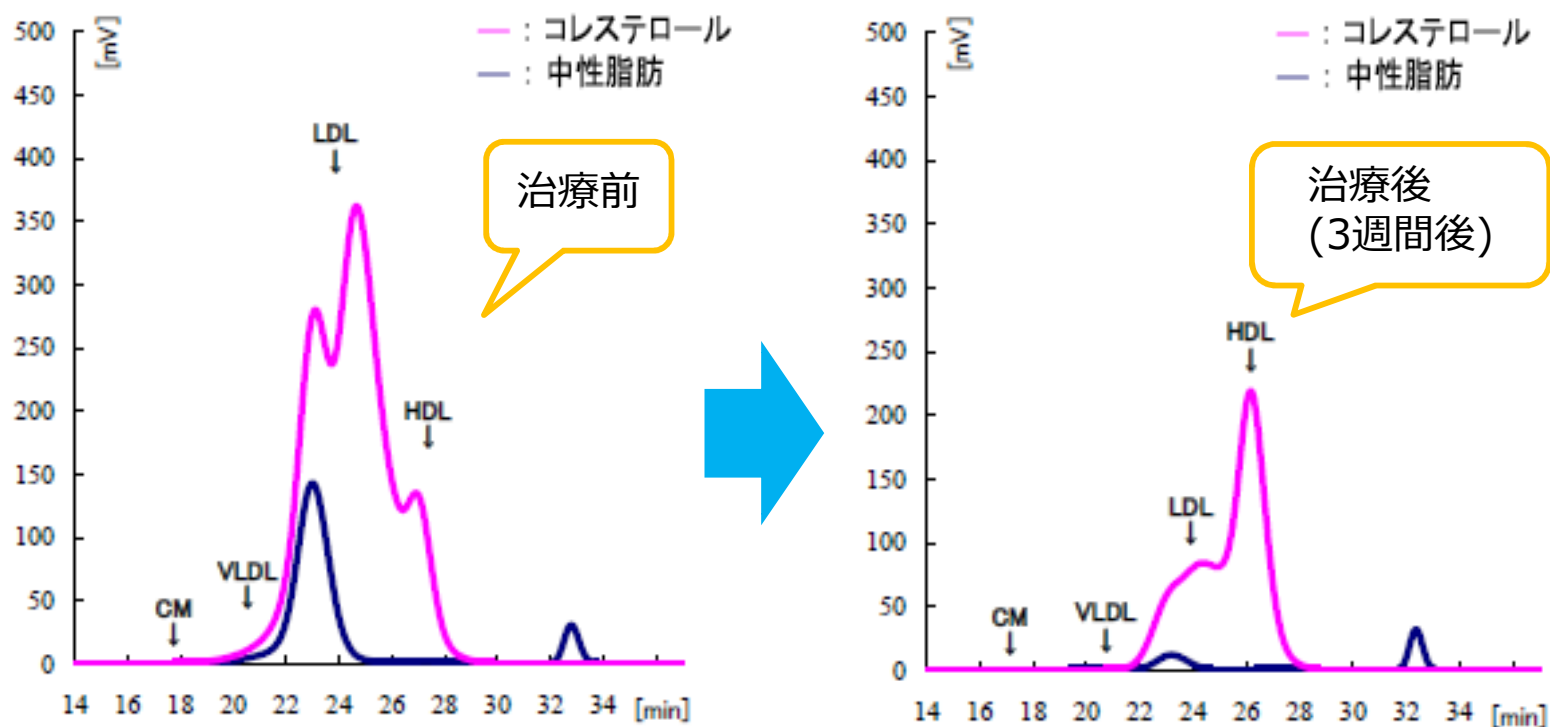
- ・Totalコレステロール、中性脂肪に加え、リポタンパク質分画の詳細解析の結果、VLDL-Cho, LDL-Cho, VLDL-TG, LDL-TGが異常高値を示した。



### 【治療計画】

- ・高LDLに対してプラバスタン (0.8mg/kg, 12時間毎)の投与、胆泥の排泄を促すためのウルソ (15mg/kg, 12時間毎) の投与、膵炎に対してもフラジール(20mg/kg, 24時間毎)の投与、カモストン(4mg/kg 12時間毎)の投与を行った。
- ・また、脂肪燃焼食としてメタボリックス(Hills)の給与も行った。
- ・経過観察後、3週間目に再検査を行った。 ⇒ 裏面に続く

## 【LipoTEST 波形データの変化】



## 【解析結果に基づく治療への評価】

- 脂質代謝改善を目的とした薬剤の投与によって、Total, VLDLやLDL分画とも、コレステロール・中性脂肪の値が正常範囲へと改善された。  
(院内検査数値は、T-Cho : 378→189mg/dl, TG : 169→37mg/dl)
- 肝酵素値の改善もみとめられた。(GPT:208→80U/I, ALP:474→153U/I)
- 黄疸と膵炎の症状も解消し、一般状態も良好となった。

症例提供：安田獣医科医院（東京都）

### ◆LipoTESTに関するお問合せ先 スペクトラム ラボ ジャパン 株式会社

\* 検体送付キットの請求は、下記記入のうえ、FAX (03-5731-3631) にてご返送下さい。

病院名		氏名	
住所		TEL	

詳しい情報に関しては、LipoTEST Webをご覧ください。URL : <http://www.lipotest.jp/>